

医療過誤訴訟

- (1) 韓国人の獣医が、コッカースパニエルを2度誤診したことで訴えられている。
- (2) ソン・リーは、自分が飼っている2歳になるコッカースパニエルが、見当違いな胃の手術を2度も受けることがなかったら、その苦痛を味わうこともなかったと知って憤慨した。
- (3) リーの獣医が彼の犬の悪いところを突き止めたのは、リーが自分の犬の胃が炎症を起こしているのに気づいたあとだった。
- (4) 獣医は、胃の手術を行えばおそらく犬の胃の不具合は治るだろうと言った。
- (5) 彼は自分の犬をとて愛していたので、この手術のためにしぶしぶ10,000ドルを支払った。
- (6) しかし問題が解決されなかった(犬の胃の調子が良くならなかった)ので、医者は今度は成功すると請け合って、もう一回手術をすと言い張った。
- (7) しぶしぶ彼は医者命令に従うことに決めた。
- (8) 犬がまた病気になると、彼は医者を替えることにした。
- (9) 新しい医者は、ドッグフードの種類を変えればその問題は簡単に解決される(犬の胃の不具合は治る)と気づいた。
- (10) リーの犬は、彼が与えていたドッグフードに対してアレルギー反応を起こしていたのだ。
- (11) これを知ってリーは激怒し、民事訴訟を起こす決意をした。